

第2回第2分科会（R6.3.21）後に意見等記入票で寄せられた意見

1 6地区ごとの学校配置についての意見

- 地区の意味づけが不明瞭だと思う。
- 個々の学校の状況（地域での役割・生徒の資質・地理的条件等）を考慮して、現在の6地区にこだわらず配置を考えるべきではないか。
- 便宜上とか学校間の距離とか近隣地域の学校数とか、全県を画一的にとらえないで、あくまで生徒に充実した教育を効果的に施すための配置であるべきと思う。

2 学校規模についての意見

- 生徒は様々な資質や特徴を持ち、どの規模の学校でも教員のきめ細かな指導を必要としているので、規模の標準を定めず、柔軟に対応したらいいのではないか。
- 学校規模云々ではなく、質の高い教育を展開するために必要な教員配置を行うことを優先すべきではないか。
- 学校の特異性等で存在している現在の小規模校のデメリットを明らかにし、それを解消する統廃合ではない解決法を考えるべきではないか。

3 学級編制についての意見

- 生徒は様々な資質や特徴を持ち、どの規模の学校でも教員のきめ細かな指導を必要としているので、編制の標準を定めず、弾力的に対応したらいいのではないか。
（例えば、普通科でも市部のほとんどが進学を目指す生徒の学校と、市部以外で、多様な生徒が多くいる学校を、同じ「普通科」で括らないとか、40人以下の入学でも1クラス編制としないとか。）

4 定時制・通信制課程の配置についての意見

特になし。

5 再編の方法についての意見

特になし。